

B.1.2.4 B.1.2.3 の値を超えない回路抵抗を生じる電線の最小サイズを選択

必要な電線長さを使って、単位長さ当たりの抵抗値を決定する。電線が15 ~~40~~mの長さであるならば、単位長さ当たりの抵抗は $(0.447/15 \text{ ~~40~~})=0.0298 \text{ ~~0.0447 /mに成る。銅の電線単位抵抗値の表を参照すると、0.75 mm²電線は、この抵抗の最大値と成る最小サイズであることを決定することができる。~~$

B.1.2.5 B.1.1.1 から負荷電流を供給する電線の最小サイズを選択

電線製造業者のデータを参照して、また電線の周囲温度を考慮して、負荷電流を通電するのに必要な最小電線サイズを決定する。0.5 mm²の電線は、40 で9.24 Aを通電するのに必要である。

B.1.2.6 B.1.2.4 と B.1.2.5 より大きい電線サイズを選択

B.1.2.4 及び B.1.2.5 で計算されたサイズの大きい方、すなわち 0.75 mm² を選択する。